

報道関係者各位
プレスリリース



2018年6月18日

 **subLime Group**
株式会社パートナーズダイニング
監獄レストラン ザ ロックアップ

フィンランド生まれ「マッドクロック」が
「監獄レストラン ザ・ロックアップ」の公式エナジードリンクに決定！
飢えた囚人たちへの栄養補給に！
6種類の「マッドクロック カクテル」も販売！

【6/8～6/10 「マッドクロック」×「監獄レストラン ザ・ロックアップ」イベントも大好評】
突き進むとき、楽しむとき。パワーが違うぜ！

subLime Group 株式会社パートナーズダイニング(本社:新宿区西新宿、代表取締役社長:中村英樹)は、フィンランド生まれの「マッドクロック」を「監獄レストラン ザ・ロックアップ」の公式エナジードリンクに決定致しました。

6/8より「マッドクロック」オリジナルカクテルの販売をはじめ、6/8～6/10の3日間は、日本記念日協会にも認定されている「6月9日“ロックアップの日”」を記念し、「マッドクロックガール」が各店舗(※OMIYA・SAPPORO 除く)に登場、「マッドクロック」オリジナルグッズをプレゼント致しました。



-本件に関するお問い合わせ先- 株式会社パートナーズダイニング 広報担当:設楽
TEL:03-5332-6231(10:00～19:00) E-MAIL:m.shitara@partners-dining.co.jp

■フィンランド生まれの「マッドクロック」が監獄レストラン「ザ・ロックアップ」の公式エナジードリンクに決定！

「監獄レストラン ザ・ロックアップ」4店舗(※SAPPORO 除く)にて、ザ・ロックアップの公式エナジードリンク「マッドクロック」とのオリジナルカクテルを販売しております。

6/8～6/10の3日間は、日本記念日協会にも認定されている「6月9日“ロックアップの日”」を記念して、「マッドクロックガール」が各店舗(※OMIYA・SAPPORO 除く)に登場、オリジナルのフォトフレームでお客様との写真撮影を楽しみました。

▼「監獄レストラン ザ・ロックアップ」販売店舗

TOKYO(新宿)、OSAKA(梅田)、NAGOYA、OMIYA

▼「オリジナルカクテル」全6種

ライカーズ(ピーチ×マッドクロック) サンテ(マンゴー×マッドクロック)

タンドール(赤い梅酒×マッドクロック)

アズガバンA棟割り(ウオッカ×マッドクロック)

アズガバンB棟割り(テキーラ×マッドクロック)

アズガバンC棟割り(ジン×マッドクロック)

【オフィシャルホームページ】 <http://www.lock-up.jp>



■フィンランド生まれのエナジードリンク「MAD-CROC マッドクロック」



ヨーロッパ発祥のエナジードリンク「MAD-CROC マッドクロック」は、程よい甘さとキレのある味により、お酒やジュースと割っても美味しく、世界40か国以上で愛されています。

人工甘味料不使用なため、スッキリとした自然な甘さを実現。従来のエナジードリンクが苦手という方でも喜んで頂ける飽きのこない味を楽しめます。

また、健康志向の方にも好んで飲んで頂けるように、保存料、合成着色料不使用を実現しました。

■「監獄」がテーマのコンセプトレストラン「ザ・ロックアップ」



試験管やピーカーに入った色鮮やかなドリンクやモンスターを模した料理、目玉の乗ったカクテルがインスタ映え抜群と話題沸騰の「監獄レストラン ザ・ロックアップ」。エンタメレストランの先駆け、パイオニアとして若者や海外のお客様を中心に大好評を頂いています。

「監獄」をテーマにしたその店では、様々な仕掛け部屋を抜けて、やっとレストランの入口に辿り着きます。そこで「案内係」のポリスに罪を問われ、その場で「手錠」を掛けられて、薄暗い廊下を連行された先、鉄格子に囲まれた監獄個室が食事するために用意された「客席」です。お客様にはこの牢獄で食事が終わるまでは「囚人」として過ごして頂きます。自慢の食事中には、当監獄の看守長(店長)、ポリス(案内係)、模範囚(ホールスタッフ)、モンスターが素敵な「恐怖体験」でおもてなしをしてくれます。

-本件に関するお問い合わせ先- 株式会社パートナーズダイニング 広報担当:設楽
TEL:03-5332-6231 E-MAIL: m.shitara@partners-dining.co.jp

■その他一例



料理一例

熏靡の左手 830 円(※税別)



ポリス一例



記念日サプライズ承ります

※要相談・要予約



人気のオリジナルカクテル

人体実験カクテルセット
750 円(※税別)

■株式会社パートナーズダイニング



40 年以上継続する安定したブランドの居酒屋「北の家族」と、監獄がテーマの「監獄レストラン ザ・ロックアップ」を柱に 20 業態を展開。産地と素材にこだわり「ほんものの食材」を料理長が届ける居酒屋業態と完成度の高いテーマレストラン業態は、挑戦の手を緩める事なく前進し続けています。パートナーズダイニングは「やりたいこと」「楽しいこと」を叶え続ける居酒屋・レストランです。食事を通して、たくさんのお客様に幸せと笑顔を全国にお届け致します。

- 本件に関するお問い合わせ先 - 株式会社パートナーズダイニング 広報担当: 設楽
TEL: 03-5332-6231 E-MAIL: m.shitara@partners-dining.co.jp